

夏焼き2～火入れ

1. 実施日時 平成28年9月3日 7:00～16:00
2. 実施場所 仁多郡奥出雲町佐白地内（ダムに見える牧場林地）
3. 参加者数 火入れ従事者14名（奥出雲町、雲南市、松江市、出雲市／島根大学学生・教員）
見学者4名
4. 概要 10時40分に着火し、12時30分に延焼終了、14時に鎮火。
火入れ面積約2アール。
14時より温海カブを2アールに播種。
5. 今後の予定
 - 調査記録まとめ
ドローンによる記録（植生と伐採量など）、面積測定、時系列経過詳細など
 - 播種作物の生育状況調査と間引き
春焼きの雑穀含め。温海カブは11月下旬より収穫予定。ソバについては10月に収穫予定。
 - 収穫・調製・調理・試食
 - 春焼きも含めた報告会を松江市（島根大学松江キャンパス構内）と、奥出雲町内で開催
 - アワ、キビ、地カブなどの在来作物調査。三沢地カブの播種。
6. 現況写真

▼山手側より着火。防火帯へは断続的に散水。



▼着火後約1時間40分で最後部まで延焼。約2時間半で鎮火。



7. その他（経過と要検証事項等）

●時間経過

- 7:00 先発隊集合・準備開始
- 9:30 後発隊到着
- 10:30 火入れ式（北東からの風微風…火入れ局地／気温28℃／晴れ／湿度不明）

10:40 着火 (点火部・上部6、ポンプ3、軽トラ1、麓4、記録1)
 11:30 順調に延焼、全体の約4割まで。渦巻き流さかんに発生。
 12:30 延焼終了
 14:00 鎮火
 14:00 種蒔き2分の1
 15:00 種蒔き2分の2
 16:00 撤収・解散

●播種と発芽

昨年度山形県より取り寄せた温海カブ種子から焼畑栽培し、今春(6月)種取りしたものを播種。
 播種量未計測。

▼9月9日(6日後の発芽状況)



▼9月17日(2週間後の発芽状況)



●飛び火と延焼速度

- ・飛び火は今回発生せず。
- ・伐採から1年を経過した竹が中心であり、竹桿の含水率はこれまででもっとも低かったと推定される。降水が続いた後であり、火入れ土中と周縁部の水分量は今年春の火入れと8月の火入れと比べて多かったと思われる。伏せ込み料と延焼の発生臨界温度との相関などを大まかなものであれ、今後整理しておく。今回偶然残されていた火入れ地の一升瓶の溶融具合から火入れ部の燃焼温度は400°C~600°Cであることがわかり、延焼の理論値と合致した。

●8月火入れ地の状況

▼8月6日(火入当日)の状況



▼9月17日(42日経過)



●春焼き火入れ地の状況

- ・9月13日~17日にアワ、ヒエを収穫。アマランサスが完熟前に降雨などで倒伏が発生しており、倒伏したものは収穫。
- ・9月下旬にアマランサスとタカキビを収穫予定。



†. 平成28年度竹の焼畑事業は「竹の焼畑2016」と呼称。奥出雲山村塾、里山管理研究会、ダムの見える牧場が主要主体となって取り組んでいる事業です。